

今週のお祈り

三位一体主日・聖霊降臨後第1主日特禱

永遠にいます全能の神よ、あなたは僕らに恵みを与え、まことの信仰をもって、栄光ある三位一体の神をあがめることができるようにしてくださいました。どうかこの信仰に堅く立って生き、すべての災いに打ち勝つことができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木2-20-1  
でんわ：03-3710-6031



2020年3月から始まった「はこぶね号外」もついに今日で100号！となりました。教会に来られないお友達にも毎週聖書のメッセージとお祈りが伝わると嬉しいなあと思いつづけています。これからも読んでね(^)/



『あなたがたに告げる』と云ったのである。』  
て、私のものである。だから、私は、『その方が私のものを受けて、あなたがたに告げる』と云ったのである。』  
たに告げるからである。15父が持つておられるものはすべて、私のものである。だから、私は、『その方が私のものを受けて、あなたがたに告げる』と云ったのである。』  
その方は私に栄光を与える。私のものを受けて、あなたがたに告げるからである。15父が持つておられるものはすべて、私のものである。だから、私は、『その方が私のものを受けて、あなたがたに告げる』と云ったのである。』  
これからは、勝手に語るのではなく、聞いたことを語り、これからは起こることをあなたがたに告げるからである。14その方は私に栄光を与える。私のものを受けて、あなたがたに告げるからである。15父が持つておられるものはすべて、私のものである。だから、私は、『その方が私のものを受けて、あなたがたに告げる』と云ったのである。』

今週の聖書 ヨハネによる福音書 16：12～15

聖書からのメッセージ

『三位一体』

司祭 池 星熙

今日は聖霊降臨後第1主日であると同時に三位一体主日です。イエスさまを信じている人々が集まって教会が形成されると、やがて「神さまはどういうものなのか」を示す考え方が整えられていきました。そのなかに、父と子と聖霊の関係を示す三位一体論があります。私たちが信仰告白として唱える使徒信経やニケヤ信経には「唯一の神」という言葉がでてきますが、これは、神さま以外に他の神さまがないという意味です。では、父と子と聖霊はどんな関係なのでしょう。例えば、水は冷やされて0度以下になると氷になり、100度以上になると蒸発して水蒸気になります。しかし水も氷も水蒸気も同じ水なのです。「唯一の神」もこの世と私たち人間にどのようにしてお恵みと救いを与えてくださったのかが、聖書に示されています。つまり、旧約聖書にあるように、世界と人間を創造された「父」である神。新約聖書の福音書にあるように、罪を犯し神さまから離れた人間を十字架とご復活によってお救いになるためにこの世にお生まれになった「子」である神。これがイエスさまです。そして使徒言行録にあるように、イエスさまが天に昇られた後、私たちが神さまの栄光をあらわし、力強く立ち上がっていくために与えてくださった「聖霊」である神。父と子と聖霊は三つの違う神さまのように見えますが、一体である同じ「神」なのです。